

まちが学び舎 Letter

“ふるさとから豊かな生き方を学ぶ”「ふるさと・キャリア教育プロジェクト」

2022. 1. 4

担当：学びの場クリエイター 西村



12月23日（木）

三浦小学校 1・2年生「木工教室」

この日の先生は、四万十川森林ふれあい推進センターのみなさん。『雨水のぼうけん』『もくざいのヒミツ』の物語を通して、森のこと、木のことをたくさん教えてくださいました。

・森は水をきれいにしてくれる、木には小さな穴（生きているしょうこ）があいている、温かみや香りがある…など、「へ〜」と感ずることがいっぱいあったでしょう。



・知った後は、体感！クラフトに使う「はたひのき」の板を受け取ると、さっそく、においと手ざわりをチェック。『すべすべしている』『気持ちいい』『いいにおい』

・そして、その板の上に大きなまつぼっくりのツリーを立て、木で作ったサンタや雪だるま、木の実、ビーズなどを使って自由にかざりつけ。「世界で1つの自分だけのツリー」を作りました。

『はじめての工作でむずかしかったけど、みんなじょうずに、かわいくできて、すごいと思いました。』

『みんなでやって楽しかったし、ゆいあちゃんのがすごいと思いました。』

『みんなじょうずに、自分のかざりつけもできてよかったです。』

『木工教室で木のことをいっぱい知れたし、色ぬりや、かざりつけも楽しかったです。』



木にふれる体験ができてよかったですね！三浦小の校庭には、30種類以上の木があるそうです。いろいろな木の実も探してみてください。



物語にも、興味しんしん



木のおいをチェック リラックス効果があるかな？



「大王松」という名前の松の大きなまつぼっくり



木の「ぬり絵」も楽しかった！



どうかざりつけようかな？ 何を使おうかな？



こっちも、もっとかざろう。 これもつけたいな。



栗の皮の中に、宝石があるよ



森からやってきた、木の実がいっぱい！